

令和 2年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名: 改革推進課
 担当名: A I 推進担当
 内線: 2442

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B9	A I 活用による県民サービス推進事業			一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	行政改革推進費		
事業期間	令和元年度～	根拠法令	なし				宣言項目			
							分野施策	061351 I C Tを活用した県民の利便性の向上		
1 事業概要 最新のA I 技術を活用し、時間帯や言語に捕らわれず、気軽かつスピーディーに行政情報にアクセスできるシステムの導入により、新たな行政サービスを実現するとともに、県民サービスの更なる向上を図る。 (1) 埼玉コンシェルジュ推進事業 (2) 音声翻訳システムの導入 オリパラ延期に伴う減額 △2,173千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 埼玉コンシェルジュ推進事業 33,377千円 A I 技術を活用した県民向け問合せ自動応答システムの運用・改修等により、県民サービスの向上を図る。 イ 自動翻訳システムの導入 6,549千円 A I 技術を活用した自動翻訳システムの導入により、行政サービスや生産性の向上を図る。 (2) 事業計画 ア 県民向け問合せ自動応答システムである埼玉コンシェルジュを運用、業務拡大を行うとともに、市町村システムとの連携等の改修を実施する。 イ タブレット端末・専用アプリをオリパラ都市ボランティアや地域機関等に導入する。 (3) 事業効果 ア スマホ・タブレットなど県民が使いやすい環境から、いつでも問合せできる環境を提供する他、市町村システムとの連携により、問合せのワンストップ化など、県民サービス向上が図られる。 イ 円滑で迅速な対応による県民サービス向上や専門家の代替によるコスト削減、職員の負担軽減等につながる。 (4) 補正内容 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期に伴い、都市ボランティア向けタブレット端末及び翻訳サービスの利用期間が変更となることから、不要となった費用について減額補正を行う △2,173千円						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円										
				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額	
予算額										
決定額	△2,173								△2,173	37,753
現計額	39,926								39,926	